



無料託児あります

託児の申込は講座の2日前(休館日を除く)までに  
直接こども室へ電話してください  
対象:1歳から就学前までのお子様  
こども室 088-655-4638

パーク テレコメディア (徳島県立男女共同参画総合支援センター)  
〒770-8055 徳島市山城町東浜傍示1-1(アスティとくしま2階)  
TEL : 088-655-3911 ファクシミリ:088-626-6189  
E-mail: flairtokushima@mf.pikara.ne.jp  
URL: https://www.pref.tokushima.lg.jp/flair  
開館時間:10:00~18:00 休館日:毎週火曜日(祝日の場合は翌日)  
年末・年始休



ホームページ

☆ 講座の申込方法 ☆  
電話、ファクシミリ、E-mailのいずれかで、パークテレコメディアへお申し込みください。  
なお、各欄に申込先等がある講座は、そちらに直接ご連絡ください。

<p>3月1日(日) 13:30~14:30 ◆要申込・先着順</p>	<p><b>親子フェスタ 人形劇団がやってくる!!</b> 「りょう太と鬼の子キバ」-土佐の民話「海に沈んだ鬼」より- ●場所:テレコメディア ホール(アスティとくしま 2階) ●対象:お子様とその保護者 定員120名程度 ●申込方法:電話、FAX、E-mail のいずれか</p> 
<p>3月8日(日) 13:30~16:00 ◇申込不要</p>	<p><b>(共催)フレアシネマ劇場</b> 徳島県女性協議会 第1部:徳島県女性協議会からのお知らせ 研修「アンコンシャスバイアス(無意識の思い込みや偏見)について考える」 第2部:映画上映「マダム・イン・ニューヨーク」日本語字幕あり*館内にヒアリンググループを設置しています。 ●場所:テレコメディア ホール(アスティとくしま 2階) ●対象:一般 ●定員:100名</p> 
<p>3月12日(木) 10:30~12:00 ◇申込不要</p>	<p><b>(共催)大人と絵本 ~心の基礎体力をつけましょう~</b> 女性グループ・すいーぷ ●場所:学習室(アスティとくしま 2階) ●対象:大人 ◎問合せ先:女性グループ・すいーぷ 電話:088-631-5731 080-2995-1639(山橋)</p>
<p>3月15日(日) 13:00~16:30 ◆要申込 応募締切3月5日(木)必着</p>	<p><b>第13回 徳島カラーフリー文化祭 一私の色、あなたの色、多様な性の物語-</b> ●内容:講演:講師 株式会社クーゼス/keuzes Inc. 代表 田中史緒里さん 演劇:集団たま。 短編映画:「自分らしさ」 トークショー(出演者による対談) ●場所:テレコメディア ホール(アスティとくしま 2階) ●定員:142名 ●申込方法:申込フォーム・郵便・FAX・E-mailのいずれか ◎申込み・問合せ先:徳島県立人権教育啓発推進センター (あいぽーと徳島) TEL:088-664-3719 FAX:088-664-3727 E-mail:info@aiport.jp</p>   <p>申込 QRコード</p>
<p>3月19日(木) 10:00~12:00 ◆要申込</p>	<p><b>(共催)ほのぼの子育て お話スペース フレア</b> なかみちの会 ●場所:学習室(アスティとくしま 2階) ●対象:育児中の方、または育児に関心のある方 ●定員:20名程度 ●参加費:200円(資料代) ◎申込み・問合せ先:なかみちの会 電話:090-4330-1336 E-mail:adlertokushimamama3@gmail.com(細川)</p> 
<p>3月20日(金:祝) 14:00~16:00 ◆要申込</p>	<p><b>(共催)トークセッション「悩み、痛みや苦しみを経て、生きる道へ」</b> コーディネータ NPO法人「生きテク」代表 オキタリュウイチさん 体験発表者 (1) NPO法人みよしサポート協会 ぴあぞら理事長 天野 雄二さん (2) 徳島あいの会代表 一般社団法人全国自死遺族連合会 城野 真規子さん (3) SCC生活訓練事業所 精神保健福祉士 中村 亮介さん ●場所:第5会議室(アスティとくしま 2階) ◎申込先:(福)徳島県自殺予防協会 いのちの希望事務局 電話:088-652-6171 E-mail:online@inochinokibou.or.jp</p>   <p>申込 QRコード</p>
<p>3月22日(日) 13:00~16:00 ◇申込不要</p>	<p><b>(推進)徳島あいの会(わかちあいの会)</b> ~大切な人を自死で亡くした家族同士が語り合う場~ ●場所:第5会議室(アスティとくしま 2階) ●対象:ご家族を自死で亡くされた方 ◎問合せ先:徳島県精神保健福祉センター 電話:088-602-8911</p> 

フレア相談室 (R7年6月より名称を変更しています)

- ☆電話相談☆ 月・水・木・金・土 10:00~12:00・13:00~17:00
- ☆面接相談(予約制)☆
  - 女性対象 毎月第1・3・4木曜日 10:00~12:00・13:00~16:00 (1人50分程度)
  - 男性対象 毎月第1・3金曜日 15:00~17:00 (1人50分程度)
- ☆法律相談(予約制)☆
  - 女性対象 毎月第2木曜日 13:00~16:00 (原則1人30分)
  - 男性対象 毎月第2金曜日 13:00~16:00 (原則1人30分)
- ☆創業相談(予約制)☆
  - 毎月第2・4水曜日 10:00~12:00・13:00~16:00 (1人50分程度)
- ☆子育て相談(予約制・未就学児に関すること)☆直通電話 088-655-4641  
電話:日・月・水・木・金・土 11:00~12:00・13:00~16:00  
面談:日・月・水 11:00~12:00・13:00~16:00

電話 088-626-6188

☆面招・法律・創業・子育て相談は  
必ず電話での予約をお願いします。



\* いずれの相談も休館日は休み。6月より男性のための法律相談を開始しています。

# 3月8日は「国際女性デー」

## 女性の権利とジェンダー平等を考える日

### 誰にとってもより生きやすい社会に！！



#### 1. 女性の社会的・経済的・政治的成果を称える日

- ・国際女性デーは、女性の社会・経済・文化・政治分野での成果を祝う日として世界中で認識されています。
- ・これは「女性の活躍を当たり前にする」ための大切な文化的基盤になります。

#### 2. ジェンダー平等を進めるための行動喚起の日

- ・国際女性デーは、女性の権利向上やジェンダー平等を加速させるための“行動を呼びかける日”でもあります。
- ・世界各地でイベントやキャンペーンが行われ、社会全体で課題を共有する機会になります。

#### 3. 歴史的背景が示す「声を上げること」の重要性

- ・起源は1904年のニューヨークでの婦人参政権を求めるデモにさかのぼり、女性たちが権利を勝ち取るために声を上げてきた歴史を思い起こす日でもあります。
- ・1975年に国連が正式に3月8日を国際女性デーとして制定しました。



#### 国際女性デーが大切な理由

「知る」ことが、「変わる」ための第一歩です。ひとりでも多くの人が「国際女性デー」に心を寄せることで、誰にとってもより生きやすい社会にしていきたいと思います。

#### 4. いまも続くジェンダー格差を直視するため

- ・世界経済フォーラムの報告では、現状のペースではジェンダー平等の実現にはあと123年かかるとされています。
- ・教育、賃金、政治参加など、多くの分野で格差が残っている現状を見つめ直す機会です。
- ・日本は、「政治」と「経済」分野で女性の参加が著しく低く、大きな課題です。

日本のジェンダーギャップ指数  
0.666 118位/148カ国  
(世界経済フォーラム2025より作成)



#### 5. 誰もが参加できる“社会を変える日”

- ・国際女性デーは、企業、学校、地域、個人など、誰もが参加できるオープンな取り組みが特徴です。
- ・日本でも企業や自治体がイベントや啓発活動を行い、認知が広がっています。

#### 国際女性デーに合わせて、今日からすぐに始められるアクションの例



##### 1. 周りの女性の声を「聞く」

- ・職場や家庭で、女性が話す場面を意識して尊重する
- ・「当たり前」とされてきた負担が偏っていないか考えてみる
- ・まずは身近な人の話を丁寧に聞くことが一歩になる



##### 2. ジェンダーに関する知識をアップデートする

- ・女性の権利や歴史を学ぶ
- ・無意識のバイアス(アンコンシャス・バイアス)について知る

##### 3. 女性の活躍を応援する

- ・同僚や友人の成果を積極的に認める
- ・SNSで女性クリエイターや起業家をフォローして支援する
- ・「女性だから」ではなく、個人としての価値を評価する姿勢を持つ



##### 4. 家事・育児・ケア労働の分担を見直す

- ・家庭内の負担が偏っていないか話し合う
- ・今日できる小さなタスクを一つ引き受けてみる
- ・「見えない家事」にも目を向ける



##### 5. 女性支援につながる商品やサービスを選ぶ

- ・フェアトレード商品 ・女性主導のブランド
- ・売上の一部が寄付されるアイテム

##### 6. 性差別的な言動に気づいたらやさしく指摘する

- ・「それってどういう意味？」と問いかけるだけでも効果的
- ・攻撃ではなく、気づきを促すスタンスが大切

##### 7. 自分自身を大切にする

- ・女性であれば、セルフケアや休息も立派なアクション
- ・「我慢が当たり前」になっていないか見直す
- ・自分の権利や健康を守ることは、社会全体の前進にもつながる

##### ミモザの花を贈る意味

3月8日は、「ミモザの日」とも呼ばれ、黄色いミモザの花がシンボルとして親しまれています。イタリアでは国際女性デーの頃には、ミモザの花が咲き、「FESTA DELLADONNA(女性の日)」として、男性から女性に敬意と感謝を込めて、パートナーだけではなく、母親や祖母、友人、仕事仲間など自分にとって大切な女性にミモザの花を贈るそうです。そのイタリアの風習が世界各国に広がり、今では、国際女性デーのシンボルとなっています。

